

2024.9.2

総合計画審議会第3回総会

資料第3号

後期まちづくり基本計画の策定に向けて (第1回 専門部会報告等)

尼崎市 都市政策課

第1回専門部会の開催状況

【開催日時】

令和6年3月25日（木）午後6時30分～8時30分

【参加者】

総合計画審議会委員 18名（学識経験者、有識者、市民委員 計24名中）

【開催目的】

総合計画の推進に関する調査審議の実施

第1回専門部会の検討内容

① まちづくり構想の点検手法

- ✓ 「社会潮流」「本市の状況」について、ずれが生じていないかを確認する。
- ✓ 現時点で大きなずれは無い。追記や内容の調整を今後検討。

② まちづくり構想の進捗確認手法

- ✓ 「ありたいまち」の認知度や、「4つの理念」の実現度等で測定する。

③ 前期まちづくり基本計画の点検・進捗確認

- ✓ 「3つの総合指標」「4つの主要取組項目」等で進捗を確認。

④ 市民意識調査に基づく現状分析

- ✓ 様々なクロス集計から見た分析結果を報告。

当日の目次

- 後期まちづくり基本計画策定に向けたスケジュールの確認
- まちづくり構想の点検手法
- まちづくり構想の進捗確認手法
- 前期まちづくり基本計画の計画期間PDCA

1. まちづくり構想の点検

(1) 社会潮流や本市の状況を踏まえた、まちづくりの基本的視点について点検

まちづくりの基本的視点は、社会情勢や本市の状況等を踏まえて設定

【点検方法】

社会情勢を踏まえ、定性的に評価

【点検項目】

● 社会潮流の変化

- ・人口減少社会の進行
- ・多様化するコミュニティの形態と地域におけるつながりの希薄化
- ・脱炭素社会の実現に向けた機運の高まり
- ・デジタル化の進展
- ・産業構造・労働環境の変化
- ・災害対策など安全・安心への意識の高まり
- ・新型コロナウイルス感染症がもたらした新たな日常

● 本市の状況の変化

- ・人口動態の見通し
- ・土地利用の特徴と変化
- ・行財政運営の状況

● 5年の間に起こった新たな情勢の変化

- ・今後起こり得る様々な変化

● まちづくりの基本的視点

- ・バランスの取れた人口の年齢構成の実現
- ・まちへの想いの醸成と交流の創出
- ・地域共生社会の実現
- ・地域特性を生かした魅力と活力の創生
- ・持続可能な社会を支える基盤整備
- ・安定した行財政基盤の確立

“ずれ”がないかどうかを点検

2. まちづくり構想の進捗確認

(1) 「ありたいまち」の実現状況の確認

ありたいまちの姿は人それぞれであるということを、「ひと咲き まち咲き あまがさき」という抽象的な言葉で表現し、「尼崎らしい5つのありたいようす」として示した

【確認方法】

●市民意識調査による評価

「ありたいまち」としての「ひと咲き まち咲き あまがさき」の認知度 など

➡ 浸透の状況を評価し、共有方法等について確認

「ひと咲き まち咲き あまがさき」が
本市のまちのキャッチフレーズだと知っている

	R1	R2	R3
知っている	51.4%	48.7%	55.9%
知らない	44.9%	46.6%	39.5%
無回答	3.8%	4.7%	4.5%

ありたいまちが「ひと咲き まち咲き あまがさき」
だと知っていますか

	R4
言葉の内容や意味を知っている	8.9%
言葉は聞いたことがある	60.2%
知らない	28.3%
無回答	2.6%

3. 前期まちづくり基本計画の点検・進捗確認

●施策評価を起点とした単年度PDCAによる進捗確認

・総合指標

まちづくり基本計画全体の進捗を把握するため、まちづくりの総合指標の進捗を踏まえた評価を実施

・主要取組項目

複数年をかけて優先的かつ集中的に取り組む主要取組項目は、それぞれの項目ごとに、施策間の連携を確認しながら施策を超えた評価を実施

・施策別の評価

施策の展開方向ごとに、総合戦略の観点や市民意識調査結果、目標指標の進捗状況などを踏まえた評価を実施

・行政運営

財政状況など「施策」に分類されない「行政運営」についても目標指標の進捗状況や中長期的な目標に対する取組状況などを踏まえた評価を実施

●連携の視点の確認

- ・主要取組項目を中心とした施策評価による確認
- ・分野別計画の体系的な整理と「施策間連携」の取組

●まちづくり基本計画期間ごとのPDCAサイクル（計画期間PDCA）による点検

- ・単年度PDCA実施の蓄積による評価
ex)各指標の推移、選択理由の順位
主要取組項目と予算編成のあり方 など

●後期まちづくり基本計画に反映させる点の検討

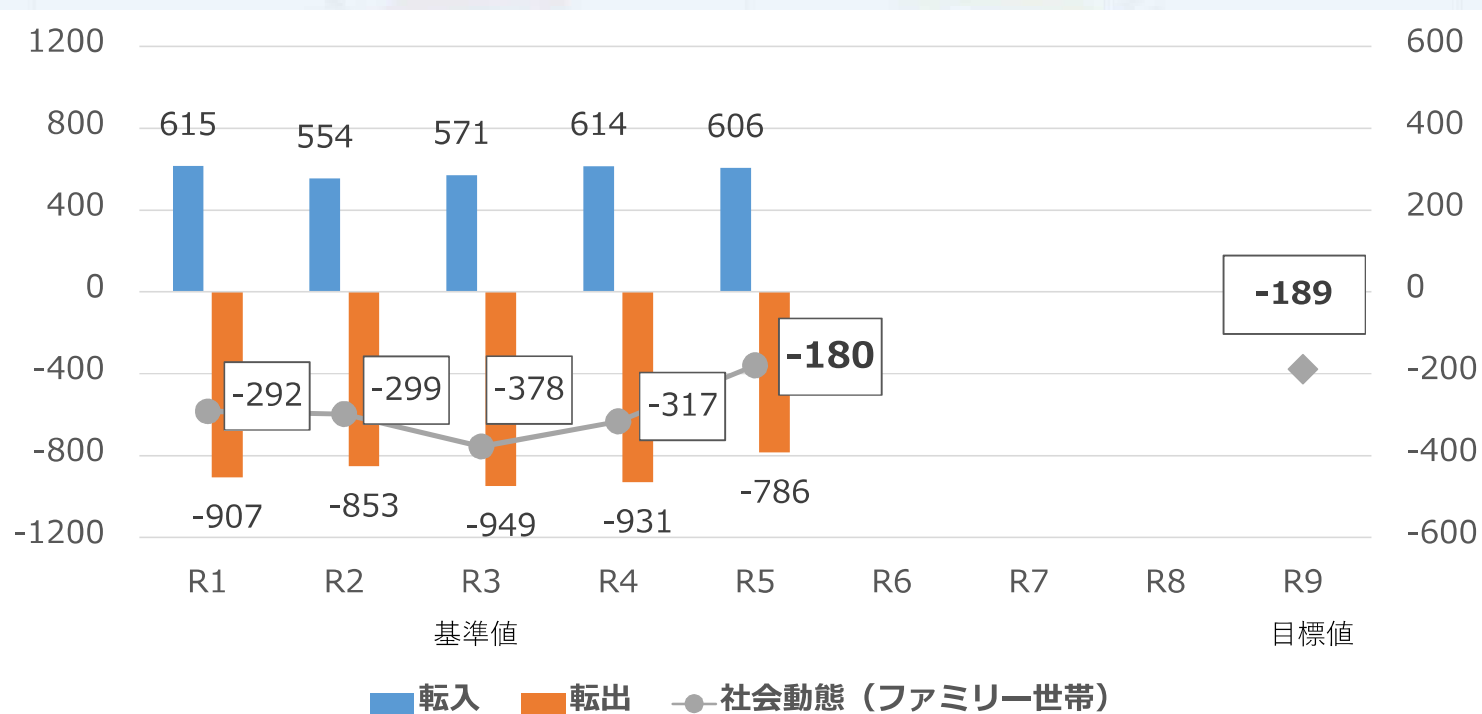
- ・指標の変更について
- ・主要取組項目の再編について
- ・施策体系、行政運営の再編について
- ・さらなる連携の視点について

3. 前期まちづくり基本計画の点検・進捗確認

(1) 単年度PDCAサイクルの積み上げ

● 総合指標による評価

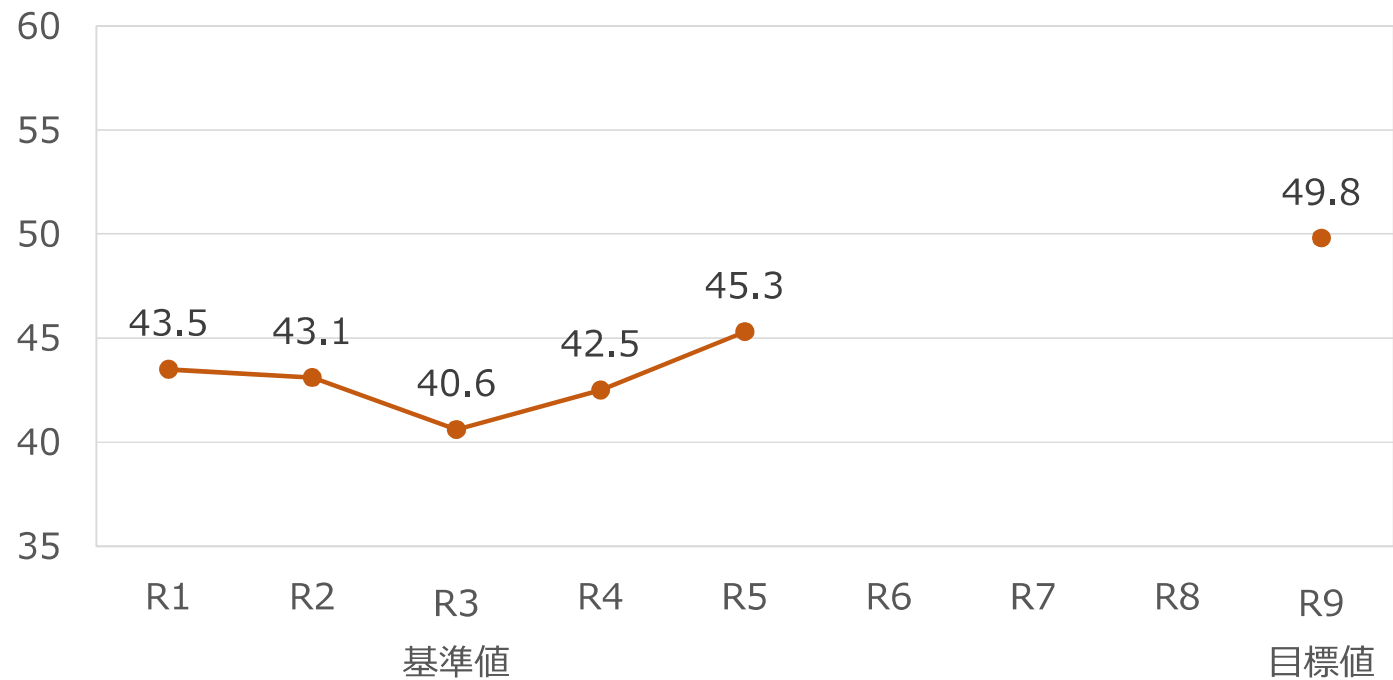
・ ファミリー世帯の転出超過数の推移



3. 前期まちづくり基本計画の点検・進捗確認

(1) 単年度PDCAサイクルの積み上げ

- 総合指標による評価
- ・ 市民参画指数の推移

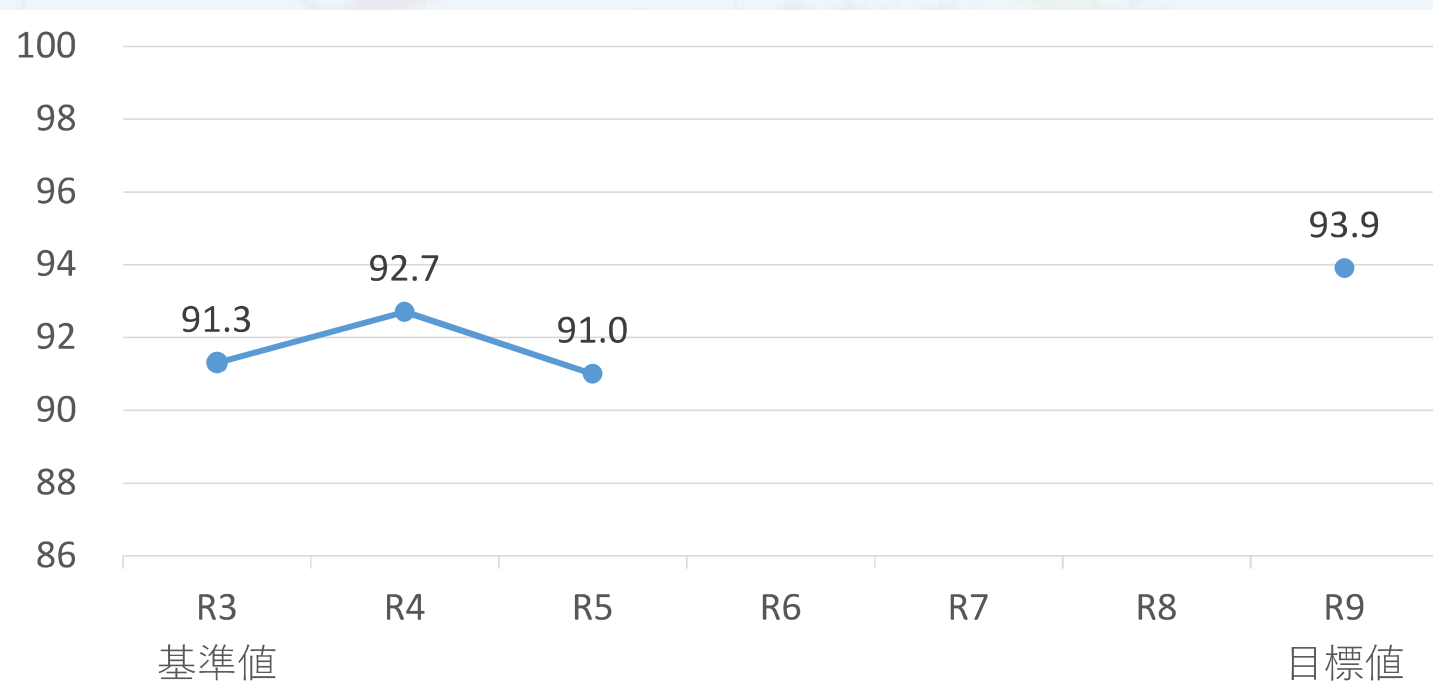


3. 前期まちづくり基本計画の点検・進捗確認

(1) 単年度PDCAサイクルの積み上げ

● 総合指標による評価

- ・ 「尼崎市に住んで良かった」と感じている市民の割合の推移



第1回専門部会でいただいたご意見（抜粋）

- ✓ 社協加入率以外でコミュニティを評価しては。
- ✓ デジタル弱者への対応を盛り込むべき。（古川委員）
- ✓ 外国人就労も盛り込んで。 （関委員）
- ✓ 個別のヒアリングを実施しては。学校については、児童生徒に聞いては。（仁保委員・梅谷委員・堀田委員）
- ✓ まちづくり構想の進捗を基本計画で受けるのか、構想の進捗確認で受けるのか。そういう視点で論点整理が必要。
- ✓ 計画期間PDCAは13の施策ごとの自己点検が必要。その結果が妥当かを専門部会で確認していく。市民部会は市民目線で見た意見を、有識委員は各分野の評価を行い、重ね合わせるプロセスが必要。（久会長）

第1回専門部会でいただいたご意見（抜粋）

- ✓ 施策評価の評価単位が基本計画の施策単位と合わない。（久委員）
- ✓ 個々の事業と「ありたいまちに近づいたか」の間を書けていない。施策ごとの評価を検討しては。また、関連部署との意見交換が不十分。
- ✓ 定量・定性評価に加え、連携による課題解決の事例も伝えていければ。
- ✓ 地域課のプラットフォームができる前後での変化を、当時の職員に聴くなども検討しては。（室崎部会長）
- ✓ 地域課の職員の影響を分析できないか。（中西委員）
- ✓ どの項目が効果的だったか、統計的な手法で分析しては（久委員）
- ✓ 総計の周知には持続的な取組と回数が必要（畠中委員）

→ いただいた意見を踏まえ、後期計画に向けて検討

今後のスケジュール感について（令和9年度まで）

令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
4月 第6次総合計画 始動		1月 3月 第6次総合計画 中間点検結果報告書作成 後期まちづくり基本計画 諮問	後期まちづくり 基本計画策定	5月 6月 後期まちづくり基本計画 答申 議決

総合計画の推進、計画期間PDCAについて
総合計画審議会において点検

当面のスケジュール感について

令和6年9月 現委員任期満了

令和6年10月 新委員の委嘱

令和6年10月～11月

第1回総会（新委員への説明・部会の設置）

令和6年度中 専門部会・市民部会・有識部会の開催